

第6学年 国語科 学習構想案

日時 令和2年10月19日(月) 第5校時

場所 6年1組教室

指導者 教諭 吉川 千明

1 単元構想

単元名		作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう「やまなし」 資料「イーハトーヴの夢」(光村図書 p.103~127)	
単元の目標		(1) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)オ (2) 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 [知識及び技能] (1)ク (3) 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等] C(1)エ (4) 表現や構成等に着目して作品全体をとらえ、言葉がもつよさを認識するとともに、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力, 人間性等]	
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(1)ク)	① 「読むこと」において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。(C(1)エ) ② 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)	① 表現や構成等に着目して作品全体をとらえることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
表現や構成の工夫に着目し、表現の工夫が読み手に与える効果を考えながら、作品に描かれた世界を自分なりにとらえ、進んで伝え合おうとする児童			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
自分が「やまなし」をどう読んだのかを、紹介カードにまとめ伝え合おう。		表現の効果に着目し、友達と比べながら考えることを通して、言葉への自覚を高めること。	
指導計画と評価計画(10時間取扱い 本時 7/10)			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品について想像できることを話し合い、学習計画を立てる。 ○ 物語の構成、あらすじをとらえ音読する。 	【態①】(観察・ワークシート)
二	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「五月」「十二月」の場面で描かれている風景を簡単な絵や図に表す。 ○ 資料「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方・考え方について話し合う。 ○ 「やまなし」の心を引かれる表現に線を引き、その情景を想像する。 ○ 「五月」と「十二月」の場面を比べ、感じたことや考えたことをまとめる。 ○ なぜ「やまなし」という題名にしたかを考える。【本時】 ○ 宮沢賢治が「やまなし」に込めた思いについて考え、文章にまとめる。 	★【知①】(ワークシート・発言) ○ 語のリズムや表現のもつ美しさ、比喩などの表現上の特色に気付いている。 ★【思①】(ワークシート・発言) ○ 物語世界の全体像を具体的に想像するとともに、宮沢賢治の生き方や考え方、作品の特徴をとらえている。 ★【思②】(ワークシート・発言) ○ 作者が作品に込めた思いについて、資料の叙述に基づいて自分の考えをまとめている。 ★【態①】(ワークシート) ○ 表現や構成等に着目して作品世界をとらえることに粘り強く取り組み、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。
三	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書いた文章を読み合い、感想を交流する。 ○ 単元で身に付けた力を振り返る。 	★【態①】(観察・紹介カード) ○ 単元全体を振り返るとともに、作品世界を想像しながら、進んで紹介カードを交流しようとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校学習指導要領第5学年及び第6学年 [知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ク [思考力, 判断力, 表現力等] 「C読むこと」(1)エ オ				
教材・題材の価値				
本教材は, 作者独特の表現が多く, 児童にとって一読しただけでは作品の世界をとらえることが難しい。そこで, 表現を味わい, 他者との対話や資料「イーハトーヴの夢」と重ねて読むことで, 作品テキスト内外の情報のつながりを見出し, 自分なりにその意味付けを書くことで学びを深めていくことに適している。				
本単元における系統				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>5年「大造じいさんとガン」 すぐれた表現に着目して読み, 登場人物の相互関係や心情をとらえる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>6年「やまなし」 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>6年「海の命」 登場人物の関係をとらえ, 人物の生き方について共有し, 自分の考えを広げる。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%; margin: 10px auto;"> <p>中1「花曇りの向こう」 場面の展開や描写に着目して, 登場人物の気持ちの変化をとらえる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>6年「掃り道」 視点の違いに着目して読み, 登場人物の相互関係や心情などについてとらえる。</p> </div>				
児童の実態 (単元の目標につながる学びの実態)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況 (R元年熊本県学力・学習状況調査)				
調査内容	正答	誤答	無答	正答率
登場人物の様子を読み取ることができる。⑯	25人	14人	0人	62.5%
登場人物の心情を読み取ることができる。⑰	37人	2人	0人	92.5%
登場人物の心情を読み取ることができる。⑱	36人	3人	0人	90.0%
目的や必要に応じて, 登場人物の心情を読み取ることができる。⑲	19人	18人	2人	47.5%
■本単元の学習に関する意識の状況 (%)				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
国語の学習が好きである。	10.2	82.0	7.8	0
国語の授業の内容はよく分かる。	21.0	71.2	7.8	0
学級の友達と話し合う活動を通して, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思う。	26.3	68.6	5.1	0
課題解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいると思う。	21.0	68.8	10.2	0
授業で学んだことを, ほかの学習に生かしていると思う。	23.6	60.7	15.7	0
■考察				
<p>(資質・能力に関して) 描写を基に登場人物の様子を読むことが不十分な状況である。そのため, 色, 比喩, 擬態語などに着目させ, 一つ一つの描写に対して語句の理解を確認するとともに, その描写から想像される心情を対話によって他者と確認し合う学習が必要である。</p> <p>(学びに関して) 主体的・対話的で深い学びの視点から学びの状況をみると, 課題解決に向けて自分から取り組むなど主体的に学ぶこと, 自分の学びを深めたり広げたりすることについて, 十分にできているとはいえない。また, 授業で学んだことをほかの学習に生かしている実感も少ない。対話や交流の場面と自分の考えがどのように変容したか振り返る場面を設定したり, 次の学びへとつなげる意識をもたせたりして, 学習の深まりを実感する学習が必要である。</p>				

3 指導に当たっての留意点

(1) 校内研究テーマとの関連

「わくわく」から「深い学び」へとつながる授業づくり
～「熊本の学び」を意識した取組（1年目）を通して～

【視点1】「熊本の学び」を意識した単元デザインの工夫

- 「自分が『やまなし』をどう読んだのかを『紹介カード』にまとめる」という単元を通した学習課題を設定することで、常に、自分なりのとらえ方を意識するような学習活動を位置付ける。
- 紹介カードにまとめ、伝え合うという目的意識・相手意識をもたせることで、主体的に学ぶことができるようにする。
- 紹介カードを書くためのポイントとして、「やまなし」の表現や構成の何に着目したのかを明確に示し、それが読みの手がかりとなるよう工夫する。

【視点2】基礎・基本的な知識・技能の習得を図る取組

- 簡単に表した絵や図と文中の言葉とを照応したり、児童同士で見比べたりすることで、物語の世界を想像しやすくし、様子や出来事を視覚的にとらえ、話し合うための手立てとする。
- 学習計画と振り返りを一体とした表を作り、見通しをもって学習に臨むことができるようにする。
- 児童同士の対話の中で、意見の根拠となる言葉や叙述を明確に提示させ、表現の工夫に気付くことができるよう、学習形態のパターン化を図る。

(2) 道徳教育との関連

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。（B-1 1 相互理解，寛容）

(3) 人権が尊重される授業づくりの視点

他者の発言のよさに気付き、学ぼうとする態度を育て、共感的な雰囲気づくりに努める。

4 本時の学習

(1) 目標 「五月」と「十二月」の場面を比べて読み、なぜその題名にしたのかを話し合うことを通して、作品の世界をとらえることができる

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>①前時までの学習を振り返る。 ◇二枚の幻灯には、たとえの表現や色の表現がたくさんあったな。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【めあて】「五月」と「十二月」を比べ、作者が「やまなし」に込めた思いについて考えよう。</p> <p>②問いをもつ。 ◇登場人物は他にもいるのに、どうして題名は「やまなし」なんだろう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。</p>	<p>(課題解決に向けた見通しをもつ手立て)</p> <p>○単元のゴールを確認し、単元計画からめあてを設定する。</p> <p>○「やまなし」以外にも「かのに親子(兄弟)」「かわせみ」などが出てきたことを確認する。 (「問い」を生み出す手立て等)</p> <p>○別の題名であったら、どのように印象が変わるかについて問うことで、題名について着目できるようにする。</p>
展開	30分	<p>2 課題解決に向けて活動する</p> <p>①「五月」と「十二月」を対比する。</p> <p>②自分の考えをもつ。</p> <p>③他者との対話により、作者が「やまなし」に込めた思いについて考えをまとめる。 ◇「やまなし」にすることで、自然のすばらしさを伝えたかった。なぜなら「五月」のかわせみから死を感じ怖い感じがしたが、「十二月」のやまなしからはいいにおいがして、あたたかい恵みを感じたから。 ◇「やまなし」にすることで、「与えるもの」の象徴として伝えたかった。なぜなら、「五月」は、「コンパスのように黒くどがって」「鉄砲玉」と不安で怖い死を表した世界だったが、「十二月」はやまなしのいいかおりのおかげで「ぼかぼか」「金剛石の粉」「トブン」など明るい様子になっているから。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">【期待される学びの姿】 「五月」と「十二月」を対比して、題名について考えることを通して、作者が伝えたいことをとらえている。</p>	<p>(個に応じた支援)</p> <p>○根拠となる表現等をキーワードとして確認する。</p> <p>○「題名は『やまなし』でなければならなかったのか」と問うことで、自分の結論に対する理由付けとして自分の考えをまとめられるようにする。 (言語活動の設定及び設定の意図)</p> <p>○自分の考えと他者の考えを比較する活動を設定することで、児童の考えの変容をねらう。</p> <p>(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け)</p> <p>○対比的に描かれている表現(五月の描写、十二月の描写)に着目し、自分の考えをまとめる際の理由付けに生かせるようにする。</p> <p>○グループでまとめたことをホワイトボードに書いて全体に示すことで、どの表現に着目したのかわかるようにする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【具体的評価規準】思① ○対比的に描かれている表現(五月の描写、十二月の描写)を根拠として、作者の伝えたいことについて考えている。(方法：ワークシート・発言)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○板書等を基に、「五月」「十二月」で何が表現されていたか、考えを確かめていく。</p>
終末	10分	<p>3 学習課題に対する答えをまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">【まとめ】作者は、題名を「やまなし」とすることで、「自分の大切にしたい生き方」について伝えたかった。</p> <p>◇友達との交流で、色や言葉の響きなどの印象で感じ方が違うことに気付いた。 ◇宮沢賢治の他の作品も読んでみたいな。</p>	<p>○めあてや課題と照らし、課題解決の方法や学習内容をまとめる。</p> <p>○「分かったこと」「友達との交流で気付いたこと」の視点から、自らの学びに対して振り返りを行う。</p>

【板書計画】

ふりかえり	まとめ	グループの意見	グループの意見	やまなし	かにの兄弟	かわせみ	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。	めあて	やまなし	宮沢賢治
わかったこと	作者は、題名を「やまなし」とすることで、大切にしたい生き方について伝えたかった。	グループの意見	グループの意見	私の灯笼は、これでおしまいであります。	生 明 る い	喜 び と 与 え る も の	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。	単元の学習課題 紹介カードにまとめ伝え合おう。	自分が「やまなし」をどう読んだのかを、紹介カードにまとめ伝え合おう。	宮沢賢治
友達との交流で気づいたこと		グループの意見	グループの意見	きらきらと黄金のぶち	トブン	白いやわらかな丸石 きりの形の水晶のつぶ	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。	「五月」と「十二月」を比べ、作者が「やまなし」に込めた思いについて考えよう。		
		グループの意見	グループの意見	熟している	ぼかぼか	金雲母のかけら	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。			
		グループの意見	グループの意見	金剛石の粉	おどるように	きらきらする鉄砲玉のよう	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。			
			グループの意見		いいにおいだ	コンパスのように黒くどがって	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。			
					もかもか	青白い水の底 青く黒く細のよう	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。			
						小さな谷川の底を穿した、一枚の青い灯笼です。	【本時の学習課題】 なぜ「やまなし」が題名なのだろうか。			

【ICT活用計画】

デジタル教科書の挿絵を電子黒板で拡大提示し、課題の共有を行う。



①五月



②十二月

※難しい語句のイメージをもてるようデジタル教科書にある写真などを活用する。
 ※第3時に児童が表現した「五月」と「十二月」の絵・図を必要に応じて電子黒板で提示し、考える際の手がかりとする。

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

- 「複数の叙述を関係づけ、登場人物の心情について自分の考えをまとめる」についての定着状況の確認
【全国学力・学習状況調査】平成30年度A大問[4]、B大問[3]、令和2年度大問[3]
- 「目的や必要に応じて、場面の描写と登場人物の心情を読み取る」についての定着状況の確認
【熊本県学力・学習状況調査】令和元年度第6学年大問[4]】
【熊本県学力調査】令和元年度第5学年大問[4]・平成30年度第5学年 大問[3]
- 本単元に働かせた見方・考え方を生かして宮沢賢治の他の作品を読む。